

タイトル	職業体験を終えて	事務局	307
学校名	酒田市立第三中学校	氏名	後藤 理玖

私たちの職業体験では、実際に企業に訪問するのではなく、企業の方々に学校に来ていただき、さまざまな体験をしました。今回は、その中から特に印象に残った二つの体験を紹介します。

まず一つ目は、酒田警察署のブースでの体験です。ここでは自分の指紋採取を行いました。テレビドラマで見たことがあったので、実際に指紋を付けてものついた棒でなでると、指紋が浮き出てくる瞬間はしてもワクワクしました。透明なシールを使って指紋を取ったとき、実際の事件現場で鑑識の方々が行っている作業の大変さが伝わってきました。次に、パトカーに乗る体験をしました。サイレンを鳴らしたり、マイクを使って話したりすることは、普段では絶対にできない貴重な体験でも楽しかったです。また、逮捕術の体験も行いました。ソフト棒を使って相手の肩や腕、足に当てる練習をしました。頭に当たらないように気を付けるのは非常に難しかったです。相手からの攻撃を防ぎながら犯人を制圧する技術は、警察の方々のすごさを改めて感じさせました。彼らが私たちの安全を守るために日々努力している姿は、とてもかっこよく、大変な仕事だと改めて思いました。

次に、酒田天然ガス株式会社のブースでの体験です。ここでは、ガスの溶接を実際に体験しました。ガス管はプラスチック製で軽く見えたのですが、班のみんなが引っ張り回しても全く壊れません。また、鉄とは異なり、サビないため半永久的に使用できるなどの多くのメリットがあることも学びました。溶接の

際は、電極アダプターをガス管の溶接部にはめ込み、加熱して溶かし、冷やして接合するという方法で思ったよりも簡単に行うことができました。さらに、ガスが家庭に届くまでの工程や、安全のための点検、対策がしっかりと行われていることを知り、天然ガスの方々が暑い日でも寒い日でも、私たちの生活を支えるために毎日働いている姿に思わず感服しました。

今回の職業体験を通じて、働くことの意義や仕事に対するやりがい、誇りを持つことの大切さを実感しました。将来自分も仕事に誇りを持ち社会の役に立てるような職業に就きたいと強く思いました。